

外観の特徴

県庁全体の統一感に配慮した整備計画とします。

- ・別館と同じ縦強調の意匠とし、県庁としての伝統を引き継ぎます。
- ・外装は既存別館と同様なタイルを、長寿命コンクリートPC板打込みとし、また開閉機能を備えた自然換気も可能な縦長窓を採用しています。
- ・建物高さを本館とほぼ同じ高さとし、県庁全体の統一感を創出します。

構造的な特徴

耐震性の高い建物とします。

- ・地下1階と1階の間に、免震装置を設置して地震による建物の揺れをやわらげる免震構造です。
- ・1階以上の柱は鋼管の中に高強度のコンクリートを充填した柱（CFT柱）とし、免震構造と併せて採用することで県の防災拠点に適した耐震性能を有する構造となっています。
- ・建物を支える基礎は、大変堅固な地質である火山砂礫層の上に直接載せているため、地震時に液状化の恐れもなく、耐震性の高い建物となっています。

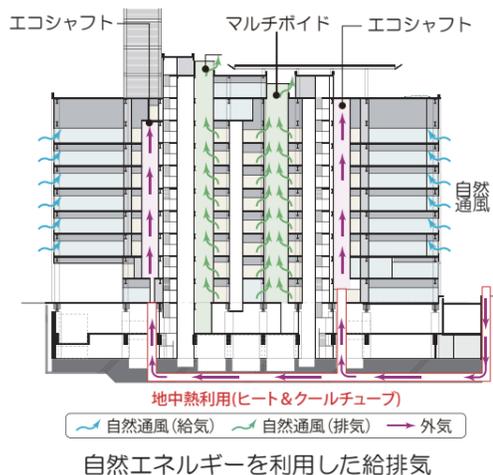
設備的な特徴

大規模災害時でも機能維持する設備計画

- ・特別高圧受変電設備、低圧幹線の二重化により機器の故障やメンテナンスを想定したバックアップ機能を有します。
- ・停電時に必要機器への電源供給を行う非常用発電機を設置します。
- ・災害時の飲料水を確保するほか、空調用蓄熱槽内の水を雑用水として供給するとともに、非常用汚水槽を設置し、災害時の給排水を確保します。

地域特性を活かした自然エネルギー利用

- ・1日の寒暖差が大きく、夏暑く冬寒いという盆地特有の気候を考慮し、年中安定した地中熱を利用する風の道（ヒート&クールチューブ）を地下ピット内に設けます。
- ・冬季などの低い外気温を利用し、冷凍機を動かさずに空調を行うフリークーリングシステムを採用します。
- ・太陽光発電装置を設置し、自然エネルギーを有効利用します。
- ・雨水を利用し、トイレの雑用水や植栽灌水に利用します。



スケジュール

平成23年

解体

11月着工

平成24年

新築工事

平成25年

10月供用開始

[甲府駅南口からのアクセス]

甲府駅南口から平和通りを南へ進み、紅梅北通りの交差点の角です

[お問い合わせ]

山梨県総務部管財課 庁舎整備担当

TEL: 055(223)1326 FAX: 055(223)1379

メールアドレス: kanzai@pref.yamanashi.lg.jp

URL: <http://www.pref.yamanashi.jp/kanzai/index.html>



山梨県防災新館

- 大規模災害発生時に、県民の生命と財産を守る防災拠点としての役割を果たすため、警察本部、教育委員会及び災害対策本部関連部署を配置する「防災新館」を整備します。
- 1階部分には、活気やにぎわいの創出を目指して、地場産品や観光資源等のやまなしブランドを広く情報発信する場として県民利用施設や商業施設を整備します。



整備の概要

施設の構造・規模

鉄骨造 一部 鉄筋コンクリート造
 地下2階 地上9階 建物の高さ 39m 延べ床面積 28,684 m²

施設の配置

地下1・2階 駐車場（来庁者用 92台 公用車用 90台）、石垣展示室
 1階 県民利用施設・商業施設
 2階 警察関連、庁舎エントランス
 3階 教育委員会
 4階 災害対策本部関連部署
 5階～9階 警察本部

施設の特徴

1.防災拠点として高度な機能を備えた庁舎とします。

・通常の1.5倍程度の耐震性能を確保した免震構造の建物とし、屋上ヘリポートや災害時の非常用設備を設けるとともに、災害対策関連部署(消防防災課、治水課、砂防課)を4階に集約的に配置します。

2.中心市街地のにぎわい創出に配慮した庁舎とします。

・地場産品や観光資源などを情報発信する県民利用施設や商業施設を配置するとともに、平和通り沿いに、ピロティ形式の「県民ひろば」を設けるなど、特色のある交流スペースを整備します。

3.コンパクトで環境や人にやさしい庁舎とします。

・地中熱を利用した空調システム、太陽光や雨水の利用など自然エネルギーを積極的に活用するなど、環境に十分配慮します。
 ・「やまなしユニバーサルデザイン基本指針」に配慮し、バリアフリー対応や多目的トイレの設置等人にやさしい庁舎とします。

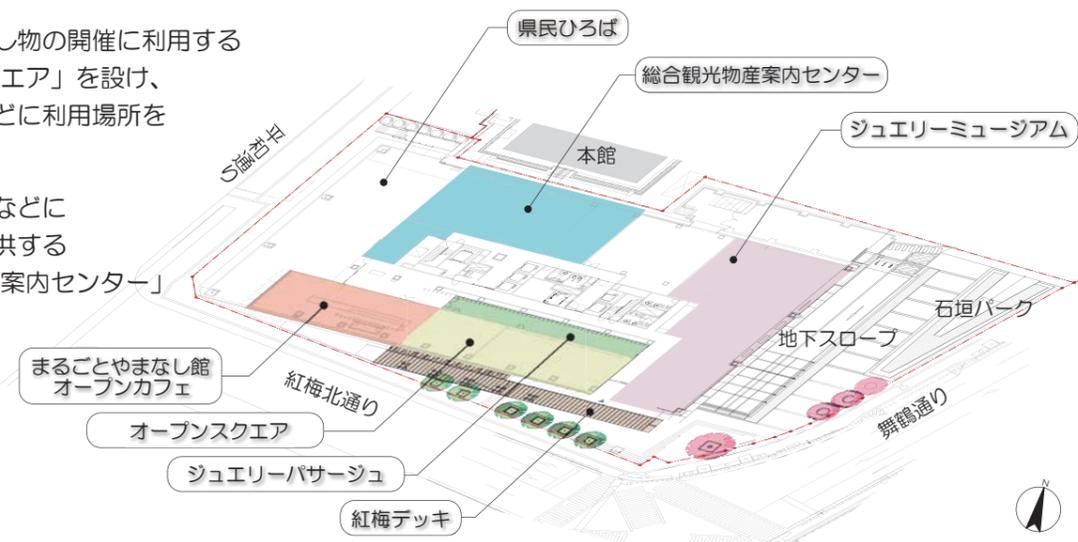
建物の平面計画

1階

・通路沿いに宝飾品等県産品を展示するジュエリーパサージュを設け、県産品を販売する「まるごとやまなし館」、県産品を使った飲食を提供する「オープン・カフェ」、地場産業の宝飾を展示する「ジュエリーミュージアム」を配置します。

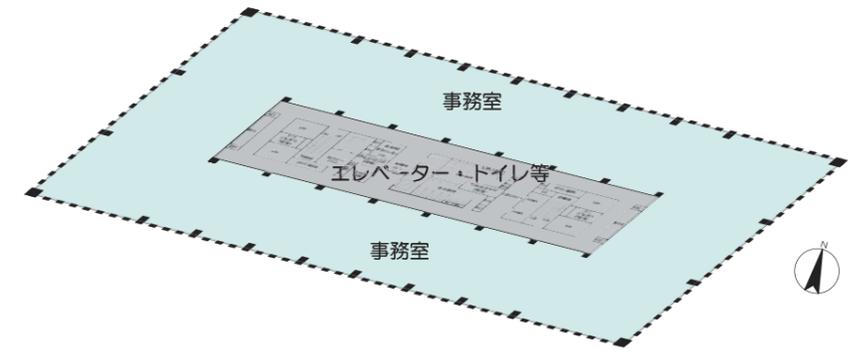
・イベントや催し物の開催に利用する「オープンスクエア」を設け、様々な団体などに利用場所を提供します。

・県民や観光客などに県内情報を提供する「総合観光物産案内センター」を配置します。



事務室(2～9階)

・中央にエレベーター、トイレなどの「コア」を配置し、周囲に執務スペースを確保する「センターコア方式」とし、課室の移動・変更が容易となり、高いフレキシビリティ(柔軟性)を確保しています。



屋上階

・大規模災害などの非常時に、防災ヘリコプターなどの離着陸場となるヘリポートを設置します。

石垣展示室(地下1階)

・防災新館建設地から出土した甲府城内掘の石垣、桐木(石垣の沈下を防ぐ為に敷かれた木材)など、築城当時の石垣の様子が見学できる展示室を整備します。

建物周囲の交流スペース

県民ひろば

・平和通り沿いに大型ディスプレイ(100インチ)を設けた2階吹き抜け(ピロティ形式)の広場を設置し、大規模なイベントなどに活用します。

紅梅デッキ

・中心市街地への動線となる南側には、紅梅北通りの歩道から自由にアクセスでき、ベンチやパラソルを設置した開放的な空間を整備します。

石垣パーク

・スクランブル交差点や舞鶴通りからアクセスを容易にし、周囲の景観と調和した空間を整備するとともに、甲府城跡を一望できる展望スペースを設置します。



紅梅デッキ

県民ひろば